



## I. 犬山市観光戦略会議 第4回 専門部会について

### 1. 犬山市観光戦略会議 第4回 専門部会

- (1)開催日時 令和2年10月22日(木) 午後1時から午後2時30分まで
- (2)開催場所 犬山市役所 2階 201・202会議室
- (3)議 題 新型コロナウイルス感染症の影響について
  - ・コロナ禍で顕在化した課題について
  - ・コロナ禍における様々な言説・評論・意見について
  - ・新しい観光の実践例

### 1. コロナ禍で顕在化した課題について (各項目中の(A、B、C)はP6に対応)

#### ①密になる催事は中止。

- ・三密が生じる可能性があるイベント・催事は中止。実施できない状況にある。(A)
- ・伝統行事、催事が止まることで地域コミュニティの持続性が損なわれる恐れが出てきた。何らかの形で本質的なところは残していかないといずれ観光も維持できなくなる。(C)

#### ②需要の変化への対応が必要となってきた

- ・アウトドア需要が大きく高まっている。高まり過ぎて密を心配する声もある。(A)
- ・空間にある程度余裕があるところがコロナ禍では強い。危機に対応するためにも、どう空間、都市の中に入れていくかが1つのテーマ(C)
- ・屋外テーマパークに、予定していなかった県内学校による教育旅行(遠足、修学旅行)の団体が来るようになった。(C)
- ・3密が回避できるところに観光客が来るようになった。(C)
- ・臨場感を味わえるような仕掛け工夫がこれからのコンテンツには必要。(C)

#### ③事業者新しい課題が発生した

- ・店舗(特に城下町)によって事業の好不調の差が生じている。(A)
- ・宿泊者数は激減。(A)
- ・感染症対策を講じている店舗、講じていない店舗などばらつきがある。(A)
- ・平日と土日の客数の違いがこれまで以上に大きくなっている(平準化できていない)。(A)
- ・事業者同士の情報共有・意見交換の仕組みがない。(A)
- ・マイクロツーリズムだけでは犬山、名古屋のホテルは埋まらない。(A)
- ・移動、交流を生業としているところは大打撃。(A)
- ・団体旅行が非常に厳しい状況で、これは戻らないかもしれない。(A)

#### ③苦情の内容に変化が出た

- ・感染に対する恐れに関する住民や観光客からの苦情・不安の声が聞かれる。(A)

#### ④観光施策にも影響が出てきた

- ・公共駐車場収益の大幅な減。(A)
- ・予算が削減。(A)
- ・宣伝活動の自粛、観光に関する会議等が中止に。(A)
- ・鶯飼事業は観覧者数が激減。(A)



## 2. コロナ禍における様々な言説・評論・意見について（各項目中の(A、B、C)はP6に対応)

### ①近場の観光需要が高まる

- ・マイクロツーリズムの需要が高まる。(A)
- ・地元で愛されることの重要性(見直し)。(C)

### ②明らかになってきた目指すべき姿

- ・平準化(土日と平日、オンシーズンとオフシーズン)。(A)
- ・単価アップ(高付加価値化、3密を回避(客数を減らしても)しながら利益を上げる仕組み)。(C)
- ・富裕層をうまく捉えられるような取り組みが必要。(C)
- ・コンテンツ制作において、臨場感を味わってもらえるような仕掛け、工夫が大事。(C)
- ・これからのコンテンツの方向性として自然志向、分散志向、滞在志向、となっている。それらと合わせて、安心安全を信頼のブランドとして提供するということが極めて重要。(B、C)

### ③はじまっている行動変容

- ・「安心安全」のための3密回避が観光地選びの基準に加わった。(B)
- ・屋外(アウトドア)志向の高まり。(B)
- ・接触機会を減らすオンライン化が加速。(A)
- ・団体旅行離れが進み、さらに旅行のFIT化が進むのではないか。(C)

## 3. 新しい観光の実践例（各項目中の(A、B、C)はP6に対応)

### ①主な実践例

- ・オンラインサービスの充実(A)
- ・需要の変化、生活様式の変化に対応したサービスの展開(3密の回避の徹底)(A)
- ・地域独自のクリーン認証基準を定め安心安全を発信。(B)
- ・安心・安全なサービス提供ができるよう、コロナ対策の研修などを開催。(A)



## Ⅱ. 犬山市観光戦略会議 第5回 専門部会について

### 2. 犬山市観光戦略会議 第5回 専門部会

- (1)開催日時 令和3年1月14日(木) 午前10時から正午まで
- (2)開催場所 ウェブ会議
- (3)議 題 ①新型コロナウイルスの影響からの回復に向けて  
②犬山らしさについて

### 1. 新型コロナウイルスの影響からの回復に向けて必要なこと(各項目中の(A、B、C)はP6に対応)

全国の先進事例などをもとに議論いただき、今後取り組むべきことをまとめたもの。

#### ①ロードマップの作成

- ・段階的にどこをターゲットに何をやっていくのかというものを定めて取り組んでいくことが必要となる。(A)
- ・犬山駅西ホテル、ホテルインディゴ、ジブリパーク、リニア等の開業などの機運をきちんと追いながら、徐々に観光を復興させる必要がある。(A)

#### ②観光動向の把握

- ・コロナ収束後に、行き先選びの必要条件に「公衆衛生が徹底されている」というものが加わってきている。(B)
- ・自然志向、分散志向、滞在志向がこれからのコンテンツの方向性として見えてきている。それらに対応した、安心安全を信頼のブランドとして見える化して提供することが極めて重要となる。(B)
- ・新型コロナウイルスの影響は、突然回復するものではなく段階的に回復するものなので、それに備え準備が必要となる。(A)
- ・オンライン化、デジタル化はどんどん進んでいく。(A)
- ・コロナが行動や意識に対し大きな足かせになっている。(B)

#### ③ターゲットの見直し

- ・大きな動きの一つとして、地域側がコロナ対応を頑張るというだけではなく、コロナの影響を契機に、地域側が観光行動基準を定め、来訪者にも責任ある行動を求めるといった動きが出てきた。(A)
- ・段階的に新型コロナウイルスの影響から回復すると考えると、その状況に合わせてターゲットを変えながら行動していくことが必要となる。(A)

#### ④マネジメント組織の必要性

- ・観光をマネジメントする組織の有無、体制の熟度の違いでコロナ危機への対応に大きな差が出てきている。(A)
- ・地域によっては、官と民の間で情報を聞き、民間の事業者の動きを見ながらその地域にふさわしい観光衛生マネジメントを行う組織が出てきている。(A)
- ・安心・安全に見える化することが重要。(B)

#### ⑤推進体制の構築

- ・先進的な地域では、観光マネジメントを確実に実施していくための安定財源を超過課税により確保をしている。(A)



## 2. 犬山らしさについて

### (1) 自然的特徴

犬山の地理的な特性が生み出したもの、こと

- ①木曾川が濃尾平野に流れ出るまさに扇の頂に位置し扇状地の始まりになる場所という特徴的な地形の中にある。
- ②荻生徂徠や志賀重昂といった歴史上の人物が白帝城、日本ラインと名付けるような風光明媚な資源があった。
- ③かつて木曾川が物流の大動脈として使われていたとき、犬山には湊があり、物資の集散地として発展した経緯がある。
- ④この地が天然の要害ということで織田氏が城下町を形成。
- ⑤木曾川を資源に尾張名古屋の奥座敷として観光地を形成してきた
- ⑥吉田初三郎が描いた名勝日本ライン
- ⑦県内では犬山だけ
- ⑧市内の多くの校歌にも木曾川に関する詞が歌われており、暮らす人たちにも潜在的な資源として認識されている。

犬山で取られた水が地域全体を潤している

- ①愛知用水
- ②県営上水道(取水)
- ③名古屋上水道(取水)
- ④入鹿池(国内最大級の農業ため池 世界かんがい施設遺産)
- ⑤多くの農業用水



水の豊富さ、良さによってはぐまれた産物

- ①守口大根
- ②桃
- ③地酒、ビール
- ④鮎
- ⑤豆腐
- ⑥こんにゃく
- ⑦ワカサギ





## 2. 犬山らしさについて

### (2) 歴史的、文化的特徴

#### 木曾川を資源とする文化

- ①1300年受け継がれている伝統漁法の鵜飼
- ②遊覧船、川下り
- ③川祭

#### 城下町

- ①その時々々の流行り物を楽しむことができる空間

#### 価値づけされたもの

- ①国宝犬山城天守(文化庁)
- ②国宝茶室如庵(文化庁)
- ③ユネスコ無形文化遺産 犬山祭(ユネスコ)
- ④旧正伝院書院など市内各所にある重要文化財(文化庁)
- ⑤重要文化財11棟を含む明治建築が集まる博物館明治村(文化庁)
- ⑥磯部家住宅など市内各所にある登録有形文化財建造物(文化庁)
- ⑦名勝木曾川(文化庁)
- ⑧飛騨木曾川国定公園(環境省)
- ⑨世界かんがい施設遺産 入鹿池(国際かんがい排水委員会)
- ⑩平成の名水百選 八曾ノ滝(環境省)
- ⑪史跡 青塚古墳(文化庁)
- ⑫史跡 東之宮古墳(文化庁)
- ⑬史跡 犬山城跡(文化庁)

#### 工芸

- ①犬山焼
- ②からくり人形

#### 風習

- ①石上げ祭

#### 学術的価値が高いもの

- ①博物館明治村
- ②日本モンキーセンター
- ③野外民族博物館リトルワールド

#### 街道

- ①上街道、稲置街道など



**犬山には城、城下町が主要な観光資源として存在しているが、原点回帰をすると「水」がもたらす「水景」が大きくすべてをつなぐものとして浮かび上がるのではないかと。**



## Ⅲ. 2回の会議から見えたもの

コロナ禍を経て、次なる犬山観光に必要なだと明確になったもの

### (A) 観光まちづくり(マネジメント)推進体制の構築

・観光協会、商工会議所、まちづくり団体、事業者等が、それぞれの役割を果たしながらまとまりをもって行政とともに観光推進に取り組み、まちづくりや危機管理、衛生管理などのマネジメントの強化を重視する体制の構築。

### (B) 観光復興のロードマップ(新型コロナウイルスの影響からの回復プログラム)

・新型コロナウイルス感染症による影響の回復期から規制のない日常に戻るまでの間、どこをターゲットに、何をやっていくのかということ、段階的に定め、取り組みを進める。

### (C) 犬山らしさのさらなる磨き上げ

近場観光、都市圏からの観光、ともに繰り返し来てもらえるような観光地にすることで、観光産業が地域の産業として持続し、そこで生まれる消費を地域産業へ波及させることが重要。  
そのためには、もう一度資源を見直し、観光資源の再定義や価値付けを行うこと、戦略的、重点的、選択的なハード面の整備を行うこと、訴求力が高い施設、サービス、コンテンツを提供することで、今来ている客層は維持しながら、ターゲットを広げられるようにできるよう取り組む必要がある。



IV. キャッチフレーズのためのキーワード(服部部会長より)

城まち・川まち

しろまち・かわまち

城町・川街

城と水のまち

城と河のまち

城トピア・水トピア

城下町・水都

水のみなもと・城のあしもと

古都・水都

古城建つ水都

古城映る大河

白き城、青き水

美しく青き犬山

白と青の犬山(白は白帝・しろ、青は水・川を表す)

\*ちなみに、indigoも青

ラインパーク・キャッスルウォーク

日本ライン・ルネサンス

遊園ルネサンス

まち歩き・みず遊び

まちとみずの遊園

まちとみずを遊ぶ

なつかしいまち・おいしいみず